

とういん

議会だより
132号



農業に新風を 3

- ・ 町政を問う 5
- ・ 議会・委員会活動レポート 16
- ・ みんなの声 19

平成29年7月21日
6月定例会
発行 三重県東員町議会

6月定例会

東員町議会6月定例会を、6月1日から14日までの会期で開会しました。平成29年度一般会計補正予算や条例の制定など、7議案を審議し、全会一致、一部賛成多数で原案のとおり可決しました。

かしたまちづくり

補正予算内容

- ・保健福祉センター経費 △ 9199万5千円
- ・新産業創造推進事業 39万3千円
- ・消防団員退職報償費 48万円
- ・文化事業イベント経費 △ 51万8千円

歳入歳出それぞれ9164万円を減額補正し、予算総額は76億5636万円となりました。

保健福祉センター経費

平成29年度当初予算で計上した9199万5千円は、国の平成28年度補正予算に盛り込まれた「地方創生活点整備交付金」の対象事業（保健福祉センター改修工事等）となり、平成28年度繰越事業で実施するため、減額します。

消防団員退職報償費

消防団員2人分の退職による報償金48万円の増額です。

文化事業イベント経費

東員「日本の第九」演奏会・音楽祭を委託せず、自主事業で実施するために経費を組み替えるもので、51万8千円を減額します。



平成29年度消防団夏季訓練



地域の特性を生

農業に新風を

新産業創造推進事業

「儲かる農業」の推進を掲げ、補助金に依存した水稲中心の農業から自立した農業経営を目指します。

さらに町の特産品の創出など、農業の産業化や農業に付随した産業の開発に取り組む事業です。

補正予算の内容は、農業を核とした新産業の創造を推進するため、地域再生計画を作成します。その委託料や旅費の39万3千円を増額します。

主な質疑

問（山本委員）「儲かる農業」は誰がもうかるのですか。

答（建設部参事）農地を将来的に維持していくには、付加価値の高い作物の栽培によって農業者も、もつかります。

販売することで雇用の創出や観光につながり、町にもプラスになります。

問（大崎委員）新しいプロジェクトに、農業の担い手や若い世代の方にも参加していただく体制を整えてはごうですか。

答（建設部参事）行政と事業者の関係だけではなく、町内の担い手や若い後継者と連携を図ることを考えています。



ブルーベリー栽培（長深地内）

手摘みが楽しみです

一般質問

町政を問う

1. 三宅 耕三 …………… 6	1. 町長の政治姿勢について
2. 南部 豊 …………… 7	1. 防犯カメラの設置について 2. 東員町の将来ビジョンについて
3. 石垣 智矢 …………… 8	1. 今後の公共施設のあり方について
4. 山崎まゆみ …………… 9	1. 東員町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
5. 近藤 敏彦 …………… 10	1. 高齢者の運転免許返納について 2. 道路整備の進捗 <small>しんぱく</small> について
6. 川瀬 孝代 …………… 11	1. 子育て支援について 2. 災害発生時の避難所運営について
7. 大崎 潤子 …………… 12	1. 介護保険について 2. まちづくりについて 3. 観光について 4. 教育問題について
8. 片松 雅弘 …………… 13	1. シニアクラブについて
9. 三林 浩 …………… 14	1. スポーツ公園陸上競技場について
10. 大谷 勝治 …………… 15	1. 防災対策について 2. 地域おこし対策について 3. 害獣対策について 4. 水道法改正の対策について

一般質問とは、町政全般について、町長の考えや意見を求め、事情を質ただしたり、議員や住民の意見などを述べることをいい、定例会のみ行われます。

今定例会では、10人の議員が質しました。

原稿は質問者が作成したものを掲載しています。

三宅耕三



町長の政治姿勢は 稼げる町を目指します

問

町長の政治姿勢について伺います。

①町長の強い意向で進められた農・福・観連携事業が、いまだに実施されていません。遅延の理由と今後の見通しを伺います。

②東員町観光振興会発足の経緯と理念、そしてこれまでの東員町観光協会の現状と、観光振興会との整合性について説明を求めます。

③昨今、東員第一中学校移転構想が検討されていますが、進捗状況を伺います。

④近年、逼迫する町財政の中で、事業展開していくためには、町長自らが国などに出向き、トップセールスを行うっていくことが町益につながると思いますが、町長の政治姿勢と覚悟を伺います。

⑤現在までの事業展開を見て、落としどころが見えないという声があります。町長の描く東員町のグランドデザインを示してください。

答

町長 ①事業者の資金調達のめどが立たないため、着手されていません。約束の日から半年が過ぎ、残念ですが協定を解約する方向も含めて検討しています。

②観光協会は、町の観光行事やイベントなど、町おこしの一役を担っていただいています。しかし、現在は組織の運営や活動方針などの調整不足で事業が停止した状態です。

そのような中で、熱意と実行力を持った若い人で観光振興会が発足しました。自主活動組織を基盤とし、特産品の開発などを手掛けています。

③小中学校適正規模適正配置検討委員会から建て替えが急務であるとの提言を受け、それを基に、本構想に向けた検討を始めています。

④国・県の補助を引き出すため、関係省庁に出向いています。財源確保には民間

参入という手法も必要と考えています。

⑤町民が主体となって、身の丈にあった生活の質の高い、自立した町をつくる取り組みを進めます。急速な高齢化や財政状況が厳しくなる中、町全体で「稼ぐ」ということも必要と考えています。



観光協会で行われていた流鏝馬道中やぶさめ

南部 豊



防犯カメラの設置は

防犯灯LED化を優先します

問

防犯カメラの設置は、犯罪発生率の減少や抑止効果は皆さんご存知のこと、住民から要望の声もあり、設置の取り組みを再度伺います。

①庁舎および町関係施設以外防犯カメラの設置台数は1台でしたが、その後増設されましたか。

②カメラ設置が進まない現状をどう考えていますか。

答

副町長 ①現在も、町内1カ所、増設はありません。

②本町の防犯対策の最たるものとして防犯灯のLED化に取り組み、町全体が明るくなることから、防犯上の効果も期待できると考えています。

今後、治安の悪化など、大幅な変化が生じた場合には検討します。

再質問（一問一答）

問

以前に「不審者から子どもや女性を守るなどに有効」と答弁がありました。まず、保幼・小中学校、そして通学路などの設置が第一優先と考えますがいかがですか。

答

教育委員 現段階は、教育委員会として防犯カメラの設置は考えていません。現場では、門を閉める、管理職の校内巡回、来訪者のチェックを厳しく実施し、危機管理意識を高めることが必要と考えています。

三和地区の住宅開発は

問

東員町の将来ビジョンについて伺います。
①現在、三和地区の住宅開発は、ほとんどありません。大型ショッピングセンター

北側付近の住宅開発を耳にしました。その経過はどうですか。

②物流関連企業の誘致の現状はどうですか。

③基本方針を定めるとき、あらかじめ公聴会など住民の意見を反映させるとあります。その措置はどう講じられたのですか。

答

町長 ①当該地区で住居系の開発に関して話があることは承知してはいますが、具体的に事業実施に向けた協議は、現時点では行っていません。

②インターチェンジを中心に半径1km以内のエリアに物流施設の立地が可能となりましたが、具体的な企業進出の相談はありません。
③策定委員会や住民アンケートを通じて町民の皆さんの意見を反映して作成します。パブリックコメントを実施し、8月末には都市計画審議会へ諮問を行い、決定、公表と考えています。

※パブリックコメントとは
広く住民に素案を公表し、それに対して出された意見・情報を考慮して最終決定を行う制度。



犯罪抑止力になります

石垣 智矢



公共施設の最適な維持管理は 庁内検討委員会で議論します

問

国の指針に基づき、平成29年3月、公共施設の最適な維持管理などを目的とする「東員町公共施設等総合管理計画」が策定されました。今後の公共施設のあり方について伺います。

① 厳しい財政状況が続く中で、老朽化が進む公共施設の維持管理を、この計画を基にどのように実行していきますか。

② 公共建築物の個別施設計画の進捗状況はどのようですか。

③ 個別施設計画を策定するにあたり、町民の方や関係団体とどのように意思疎通を図りますか。

答

総務部長 ① 本町の公共施設は、老朽化

などにより維持管理経費が年々増加しています。

また、これから大規模な改修や建て替えが同時期に集中することも懸念されます。

そこで、公共施設などを総合的・計画的に管理する「庁内検討委員会」を昨年度に設置し、検討してきました。この検討委員会を中心に、今後の施設の予防保全的な管理を議論し、個別施設計画の策定も行っていきます。

② 個別施設計画はまだ策定していませんが、施設ごとの利用状況や必要性などの調査を行い、平成32年度までに順次策定していきます。

③ ご意見箱やメール、各種審議会での意見を尊重し、施設の診断書(カルテ)をホームページに公開し、情報共有に取り組みます。

再質問（一問一答）

問

施設の最適な維持管理の手法としてファシリティマネジメントを導入する考えはありますか。

答

副町長 全てを導入することは難しいです。

すが、横断的な組織体制への意識改革や勉強会などをしていかなければならないと考えています。

※ファシリティマネジメントとは横のつながりを重視した組織体制を考え、少ない費用で最大の効果を出せるように土地や建物などを総合的に管理活用すること。

問

公共施設の最適な維持管理をどのように「まちづくり」につなげていきますか。

答

町長 現在、東員町（会員制度）を検討しています。会員カードによってさまざまな施設が簡単に利用可能となり、詳細な利用状況が把握できます。利用者を拡大しながら、今後のまちづくりにつなげていきます。



公共施設のボランティア清掃

結婚・出産・子育て環境整備は

有効な取り組みをします



山崎まゆみ

問

人口減少に歯止めを
かけ、地方創生を併
せて行い、将来にわたって
活力のある日本社会を実現
するため、全国の自治体が
総力をあげて取り組み、指
針として『まち・ひと・し
ごと創生総合戦略』を作成
しています。

その中の基本目標で「東

員町の若い世代の結婚・出
産・子育ての希望をかなえ
る」について伺います。

- ① 戦略的に取り組む施策・事業の内容はごとうですか。
- ② 市民活動や社会福祉協議会との協働・連携はどのようになっていますか。
- ③ 未婚・晩婚化対策はどのように進めますか。
- ④ 女性が働きやすく、安心して子育てできる環境づくりの取り組みはごとうですか。
- ⑤ 教員の長時間労働是正はごとうですか。

答

町長 ①現在出会いの場の支援や5歳児保育料無償化など約20の具
体的な取り組みがあり、町の宝である子どもたちをしっかりと育てていくためさらに有効な取り組みをしていきます。

②地域の課題解決に向け、社会福祉協議会やさまざまな団体と行政が協働・連携し、町が一体となって取り組む仕組みづくりが必要だと考えています。

生活部長 ③昨年から「現代版世話やき人養成講座」を開催しています。未婚男女の気持ちを最大限尊重し、押しつけにならない、ニーズに合う支援、仕組みづくりを構築していきたいと考えています。

福祉部長 ④本町の保育施設の子育て環境整備では「待機児童ゼロ」の目標、「幼保一体化」施設、協定を結んだ桑名市の医療機関が開設している「病児保育」そ

して県内唯一の取り組みである「5歳児幼稚園保育料無料化と保育園保育料の5千円減額」制度があります。また、子育て支援センターや学童保育所など、利用しやすい行政サービスを
行っています。今後子育て世代が住みやすい町づく

りを進めることで、女性の活躍にもつながれると考えます。
教育長 ⑤部活動休養日の促進、会議時間の短縮、学校閉鎖日の設定などで教職員の健康管理に対処していきます。



子育て応援フェスタ（社会福祉協議会主催）

高齢者の運転免許の返納は協働の仕組みが必要です



近藤 敏彦

問 高齢者の運転免許証の自主返納を促すために、どのような取り組みをしますか。

答 総務部長 オレンジバス、北勢線が利用しやすいように取り組んでいます。町民の方やNPOなどと協働する仕組みを作っていくことが必要となります。

再質問（一問一答）

問 玄関先まで送迎できるオンデマンド交通の採用を検討できませんか。

答 副町長 公共交通機関に加えてオンデマンドや乗り合いタクシー、福祉車両などを検討していく必要があると思います。

問 オレンジバス以外の路線バスやタクシーを利用したときに、料金の一部を町が負担する考えはありませんか。

答 副町長 需要や費用がどれくらいかかるかを把握しないと何とも言えませんが、検討する必要はあると思います。

問 運転免許証の返納を推進しているのは、都道府県ベースでの取り組みが目立ちますが、東員町の地域性を生かしながら町独自で進めていくことはできませんか。

答 副町長 費用対効果や団地と在来地区の地域特性などを分析しながら進めていきたいと思えます。

道路整備の進捗は

問 長深からいなべ市に向けての三孤子川沿いの堤防道路は、周辺の水田を集積して住宅地とする計画が進んでいるようですが、拡幅工事をするには絶対のタイミングだと思えます。見解を伺います。

答 建設部長 東海環状自動車道と併せて事業を実施している国道365号バイパスの4車線化工事完了後の交通状況を見る必要があります。現段階では財政的にも困難と考えています。

再質問（一問一答）

問 道路整備には多額の予算を必要とするこ



地域の大切な移動手段

とは分かりますが、町単独の予算では賄いきれないと思います。社会資本整備総合交付金やそれに準ずる交付金など、今後の計画と見通しを伺います。

答 建設部長 社会資本整備総合交付金を活用して、まずは維持管理に充てながら、通学路の整備を最優先に行いたいと考えています。

川瀬孝代



子育て支援は

包括支援のあり方を検討します

問 気軽に子育ての相談ができる総合窓口の設置はどのようですか。
次に、孫育てに役立つ情報提供をするための祖父母手帳を導入してはどうか。

答 福祉部長 相談窓口として、健康づくり課と子ども家庭課が連携し

た相談体制とし専門職が対応していますが、どこに相談に行けばいいのかわからない方などへの総合的な相談窓口の設置は、重要であると感じています。

相談窓口は、厚生労働省

で検討されている「子育て世代包括支援センター」の業務ガイドラインの趣旨を踏まえて、本町に見合ったセンターのあり方を検討していきます。

祖父母の方にも今の子育てを理解してもらい、子育ての担い手として活躍していただきたいので、ニーズを考慮しながら作成できればと考えています。

避難所運営は

問 ①避難所生活は、住民が主体となって行いますか、避難所運営はどのようですか。

②避難所運営マニュアルに基づく訓練の実施状況はどのようですか。
③避難所や病院などで飲料用の水・湯が無料で提供できる災害対応型紙カップ式自販機の設置と、災害協定の締結が必要と考えますがどのようですか。

答 生活部長 ①避難所に整備してある避難所運営マニュアルに沿って行います。避難所に先着した方々が開設準備、避難者の受付、運営本部の立ち上げやリーダーを選定し、避難者自ら運営していくことになっていきます。

②平成27年度に城山地区でマニュアルに合わせた自ら避難所を運営するための防災訓練を実施し、平成28年

度には稲部地区を対象に実施しました。平成29年度は、笹尾西地区で実施する予定です。
③現在、災害時に缶飲料やペットボトル飲料を無料で提供できる「災害救助ベンダー」の自販機は、庁舎をはじめ4台設置されています。災害対応型紙カップ式自販機も湯水の提供には有効であると考えます。
今後、公共施設への導入を検討します。また、民間事業所や病院へ働きかけをしたいと考えています。



校区ごとに設定されたマニュアルがあります

大崎潤子



コンパクトシティとは 効率の良い方法です

問

東員町の10年後を目前に「東員町都市計画マスタープラン改訂素案」ができました。

方針では、東員駅・東員町役場周辺は公共施設が集積した地区であるので、新しいまちの顔の創造に向けて、基盤整備など都市機能の集積を図るコンパクトシティとしてのまちづくりを進めるとなっていますが「まちの顔の創造」とはどんなまちづくりですか。

また、コンパクトシティとしてのまちづくりが提案されていますが、これからは人口減少、高齢社会の中で、特定地域に居住地を集中すれば、それ以外の地域の人口減少の促進になりませんか。確かに公共交通が利用でき、生活関連施設が一定の場所に集中していることが住民にとって安全安心で、財政的に効率的であると思います。

しかし一方で「それを

実現することは可能だろうか、全てコンパクトにすることが望ましいのだろうか、目標とする都市空間の実現までにどれだけの時間と費用がかかるのだろうか、期待される効果は得られるのだろうか」と考えます。この政策メリットは何ですか。

答

町長 役場を中心に公共施設が集結して

いますが、東員駅というポテンシャルの高いエリアとの有機的なつながりがなく、土地利用上、有効性を欠いています。この空間に生活拠点としての機能が加わることで、活力あるエリアが創出されます。時代は流れ、今一度「まちの形」を考える時期です。

コンパクトシティは、市民の利用環境の向上や利便性、行政の公共投資、サービスの効率化を考えたとき、できるだけ狭いエリアで行われるサービスは、効率の良い方法と考えます。

国歌への対応は

問

改訂された保育所保育指針と幼稚園教育要領に国歌、唱歌、わらべ歌に親しむと盛り込まれました。幼児たちに国旗、国歌を押し付けることはいかがなものですか。

答

教育長 自然な形で国旗や国歌に興味を持っていくような機会を主体的に作っていくよう、指導していきたいと考えます。



東員駅周辺に「まちの顔」

シニアクラブへの移行は 各自治会に設置を目指します



片松 雅弘

問 地域の支え合う地域づくりは今まで以上に必要となってきています。「自助・互助・共助・公助」の4つがそれぞれ密接に関わり合うことで機能します。その中でも特に「互助」が重要です。ボランティアや住民組織活動が今後もっと大切になってきます。

平成13年度から続いた元気サロンは、平成29年度から各自治会単位のシニアクラブに移行となりましたが、笹尾地区では8つの自治会の中で1つの自治会しか移行できていません。

移行できない理由で多く聞かれるのは、シニアクラブに移行すると東員町シニアクラブ連合会に所属することになり、会費の負担や会議などの時間的負担、さらに連合会にも役員を出さなくてはいけないので負担が多くなるからです。現在東員町シニアクラブ連合会の役員は30人で、全地域移行すると約53人になり、多すぎると思います。

また、移行した笹尾の1自治会に笹尾全体の行事協力が集中している現状はおかしくないですか。全国シニアクラブ連合会のメインテーマは「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくり」です。東員町に適したテーマです。

地域支え合い活動をもっと各地区で行うためにも、行政が各自治会のシニアクラブ移行に協力できませんか。

住み慣れた地域で「おみごと」な健康寿命の高い元気な東員町にしていくため、負担を減らすなどスムーズな移行への考えを伺います。

答

福祉部長 本町も超高齢社会に対応するため、地域包括ケアシステムの構築を目指した地域づくりを推進しています。各地区で高齢者が主役となり支え合う「自助・互助」が大変重要となってきます。

各地区の自治会と連携を

図り、地域支え合いの体制を構築する担い手として、単位シニアクラブに大きな期待を寄せています。設置には至らなかった自治会からの課題は、シニアクラブ連合会と話し合いを重ねて連携を図り、全ての自治会に設置を目指します。



地域で楽しく

三
林
浩



陸上競技場の公認継続は 他市町の協力次第です

問

陸上競技場の公認（3種）を継続して欲しいと多くの市民の声がありますので、次のことを伺います。

① 陸上競技場建設の経緯を伺います。
② 陸上競技場の公認を2種から3種に変更した経緯と理由は何ですか。
③ 現状を踏まえて、今後の陸上競技場の活用方針をどのように考えていますか。

答

教育委員会事務局長

① 陸上競技場は、平成4年に日本陸連の2種公認の競技場としてオープンし、桑員地域を中心とした広域的なスポーツ振興の拠点として位置付けられ、建設しました。

② 近年の少子高齢化による競技人口の減少と維持管理経費が高額であることから、平成24年の更新時期には、やむを得ず2種から3種へと公認を下げ、今日に至っています。

③ 本年10月に更新を迎える陸上競技場の3種の公認継続の申請を行わないと議会に説明をしました。その主な理由は、オープンから25年余りが経過しており、競技場のウレタン舗装の傷みなどが激しく、日本陸連から今回の公認継続審査を受けるには、トラックの全面改修が必要である」と指摘されました。そのため改修工事が1億2千万円で、本町だけでは財政的負担が大きくなり、今後の町財政を考えると、公認を続けることは難しいと判断しました。

また、公認の有無に関わらず維持管理費として、毎年1千6百万円ほどの財政負担が生じます。利用者の安全を考え、危険な箇所などは必要最小限の改修も行っていかなければなりません。

今後は陸上競技場だけではなく、市民プール、野球場、テニスコートを含めた

「町スポーツ公園等」と一体で、さらなる利用機会の拡大と効率的な維持管理に努めていきます。

再質問（一問一答）

問

他市町が多く利用しているため、桑員陸協に公認を含めた協力を求めたいのですが。

答

町長 桑員陸協には町単独では更新しないと説明しました。

他市町から必要の声が上がり、状況によっては考える余地はあります。



利用しやすい競技場

ハザードマップの更新は

必要と考えます

また員弁川浸水想定区域は、県および流域の市町と内容など協議調整を行い、住民への過度な不安を与えないように検討します。

再質問（一問一答）

水防法が改正され洪水浸水想定区域が見直されました。

問

東員町には堤防の危険箇所が15カ所ありますが、なぜ河川工事が進まないのですか。

答

建設部長 県としても優先順位があります。引き続き要望していきます。

答

建設部長 三重県北部広域圏水道基盤強化計画の中に広域圏の水道水源保護、涵養域の保護について記述してもらおうように要望をしていきたいと考えています。

再質問（一問一答）

今後の水道事業について、町長の見解を伺います。

問

答

町長 施設の老朽化に伴い、安定した水道事業の継続を、町民全体で考えるべきだと思います。

※コンセッション方式とは公共施設の所有権を保有したまま民間事業者が事業運営権を長期にわたって付与する方式。

水道事業の広域化は、コンセッション方式など民間事業者への運営権の売却、民営化議論については慎重に対処していきます。



大谷 勝治

問

防災対策について次の質問をします。
①平成28年度に土砂災害防止法により三重県は、町内で警戒区域の法指定を行いました。その後の対策を伺います。

答

生活部長 ①災害から住民の生命を守るべく広く周知を行います。
②員弁川の広域基幹河川改修事業は、県が着手してから50年が経過しました。現在、約5割が終わろうとしています。

③校区会議、地区の防災訓練などで自治会と連携して引き続き検討します。

④被害想定が変更されましたので、ハザードマップの更新は必要であると考えます。

水道法改正は

水道の広域化促進へ法改正案が閣議決定

問

されました。今後の涵養地を含む水道行政への課題を伺います。



家族で防災訓練

議会活動レポート

東員町役場委員会室

研修日 5月12日

議会全員協議会

議員の責務と議案審議とは

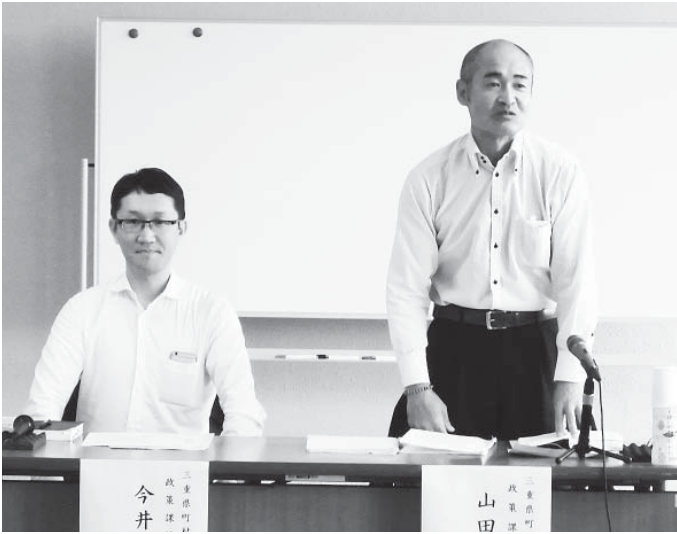
今回は、三重県町村議会議長会から政策課の山田耕司課長と今井昇治係長を招いて「議員の責務と議案審議」について、議員全員が講義を受けました。

議員の責務では、議員は住民から選ばれていることを第一に考え、人格・見識共に優れた代表者であることが求められます。一部の地域の代表ではなく、町全体の議員であるので、広く住民の声を傾ける必要があります。

東員町議会では慣例・申し合わせ事項に基づいて、本会議や委員会、さらには一般質問の通告の方法など、円滑に議会運営ができるように取り組んでいます。この研修を契機に「慣例・申し合わせ事項」を議員全員が再度確認し、これを順守していきます。

議案審議では、議会は地方公共団体の意思決定機関であることから、自己の発言に責任を持って審議に臨むことが重要です。

また、住民目線で何が最善であるかを判断しなければなりません。議決権の重みや質問と質疑の違いを学びました。



委員会活動レポート

滋賀県高島市・東近江市

研修日 5月30・31日

教育民生常任委員会



地域で支え合いを

1日目は高島市の「地域包括支援ケアシステムの構築に向けた地域の支え合いづくり」の取り組みを視察研修しました。

少子高齢化の加速で、孤立死の問題など厳しい現状がありました。

そこで、高齢者からの相談や介護予防支援などを行う地域包括支援センターを設置し、保健師と専門職員の計17人で取り組んでいます。市内5カ所に保健師を常時配置し、相談窓口を設置しています。

また「生活支援体制整備協議体会議」を実施し、見守りネットワーク活動などの住民主体の支え合いが行われています。他にも生活支援ボランティア養成講座など、担い手育成にも積極的に取り組んでいます。

2日目は東近江市の「あいつうふくしモール」を視察研修しました。

この施設は、医療・福祉・農業など多分野の有志の方が集まり、同じ敷地内で福祉に関する事業を行う場所として、2013年から活動をしています。

訪問介護ステーションや農家レストラン、障がい者の仕事づくりとして「まき工房」や喫茶店など、人とのつながりを大切に、豊かな地域づくりの場所となっています。



また、東近江市の地域福祉計画の基本理念である「共に見守り支え合い豊かに暮らせるまち」の実現に向けて、支援策の取り組みや現状を伺いました。

「支え合い」の制度を構築するためには、縦割りを超えた包括的な支援体制の整備が必要であることを学びました。



東員町の「支え合い」について、長寿福祉課と意見交換をしました。(6月27日)

政務活動費はこう使いました

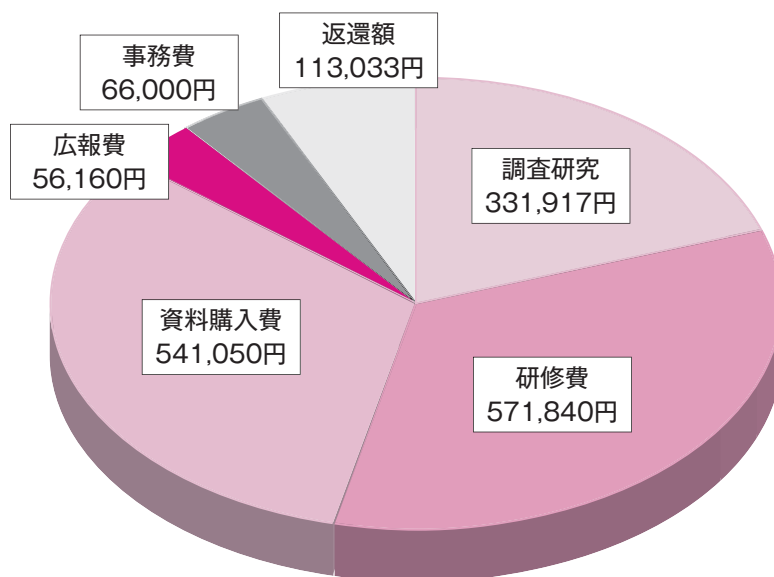
政務活動費は、議員活動に資するため、東員町では条例に基づき、議員1人年間12万円が交付されています。

各議員は、1年分の収支報告書と領収書を全て添付し、詳しい収支内訳書や研修報告書を4月末日までに議長に提出することになっています。

平成28年度は、議員分の予算総額のうち、支出合計178万1074円(約93.3%)でした。残金11万3033円は町へ返還しました。

項目	内 訳	金額 (円)
調査研究費	交通費、宿泊費など	331,917
研 修 費	会費、交通費、宿泊費など	571,840
議 会 費	会場費、資料印刷費など	0
資料作成費	印刷費、原稿料など	0
資料購入費	書籍、新聞、雑誌など	541,050
広 報 費	広報誌、報告書、送料など	56,160
事 務 費	事務用品、備品、通信費など	66,000
返 還 額		113,033
合 計		1,680,000

政務活動費内訳



読者の声

たくさん感想を寄せていただき、ありがとうございます。

毎回、議会クイズ楽しみにしています。

時々、傍聴に行かせてもらっています。

いつも議会だより関心を持って読んでいます。

住みよい町づくりに頑張ってくださいありがとうございます。
歩道も広くきれいになり歩きやすくなりました。

安心して年を重ねていける東員町であることを、切に願っています。

議員さん達の一般質問は、いつも見えています。知らないことが多く、今の町政を少しずつ知っていけたらと思っています。

「あの質問はどうなったんや？」のコーナーが個人的に好きです。もっと拡充して欲しいです。

50年前、東員中学3年の時に東員が村から町になりました。私は、東員町のマークに応募しました。
また、社会の授業で東員町議会を見学させていただきました。その時は中味が何もわかりませんが、今はていねいな議会だよりもあって、町のことがよくわかります。

最後のページ追跡は、写真が掲載されてわかりやすく、議員さん達の活躍が伝わってきます。これからもいろいろな課題がたくさんあると思いますが、よろしく願います。

議会だよりは毎号必ず読んでいます。議会だ、何について話し合われているのかよくわかり、また自分の知らない情報を得られるので、これからはしっかりと目を通していきたいです。
「追跡 あの質問は……」は、その後どうなっているのか良くわかり、良いと思います。

議会の事が分かりやすく書かれていて、読みやすいです

表紙を飾る写真の園児達の笑顔！さくらの花びらを模した元気いっぱいの手形がすてきです。

東員町が良くなるようしっかりと取り組んでほしいと思っています。

※ 内容は原文のまま掲載しました。ありがとうございました。

クイズ当選者

今回も多数のご応募をいただき、ありがとうございます。

正解は

問1 77億4800万円

問2 9人

問3 6人

多数の正解者の中から抽選の結果、当選された15人の方に図書カードを贈呈します。

- *穴 太 佐藤 正様
- *南 大社 近藤みつる様
- *長 深 伊藤 奈美様
- *笹尾西1 小島 照美様
- *笹尾西1 水本 美明様
- *笹尾西2 宮前 房子様
- *笹尾西2 羽田野勝明様
- *笹尾西2 眞野 彰太様
- *笹尾西2 倉住 薫様
- *笹尾東3 草野八重子様
- *笹尾東3 箕野 芳子様
- *笹尾東4 武内みゆき様
- *城山1 城田 直也様
- *城山1 中村 みわ様
- *城山3 山本百合江様

まちの話題

夢は「花の都・東員町」

平成元年、農協女性部を中心に花づくりの好きな人で「東員花卉くらぶ」が立ち上がりました。

育てた花苗を公共施設や地域の花壇に植える活動をボラン

ティアで熱心にされています。町の「緑

と花のある町づくり運動」

の大黒柱的存在になっています。

「私たちの

花を待っていてくれる人たちがいるから

頑張れる」と話してくれま

した。



東員花卉くらぶの皆さん



皆さんの声を

聞かせてください

読みやすく分かりやすい「議会だより」の作成に心掛けています。皆さんが読まれてどう思われましたか。

ご意見、ご感想をお聞かせください。

次回の定例会は
平成29年9月1日に開会予定です。
傍聴、お待ちしております。

議会広報常任委員会

- 委員長／石垣 智矢
- 副委員長／山崎まゆみ
- 委員／大谷 勝治・片松 雅弘
- 三林 浩・大崎 潤子

議員の寄附は罰則をもって禁止されており、議員に寄附を求めることも禁止されています。また、年賀状など(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。

表紙の写真 花卉くらぶの皆さんと孫のような子どもたちの楽しいクラブが完成しました。

一般質問の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。